配信先：大学記者会（東京大学）　文部科学記者会　科学記者会

20\*\*年\*\*月\*\*日

東京大学

**記者会見のご案内(MS明朝12pt 太字)**

**発表タイトル(MS明朝16pt 太字)**

**――副題(MS明朝12pt 太字)――**

記者会見

**◯日時**：20\*\*年\*\*月\*\*日（\*）\*\*:\*\*〜\*\*:\*\*

※報道受付を\*\*:\*\*より行います。会場に直接お越しください。

**◯場所**：東京大学大講堂（安田講堂）

（113-8654 東京都文京区本郷７丁目３−１）

<https://goo.gl/maps/27G37Ddh5cZjJyUL9>



**〇集合場所：**東京大学大講堂（安田講堂）正面玄関

**◯出席者**：

姓　名①（東京大学大学院○○研究科　職名）

姓　名②（東京大学大学院○○研究科　職名）

姓　名③（東京大学大学院○○研究科　職名）

**◯参加申し込み**：https://\*\*\*\*\*\*\*\*\*

QRコード

など（推奨）

発表のポイント

◆どのような成果を出したのか（成果についての記載）

◆何が新しいのか（新規性についての記載）

◆「～の効果が期待される」「～への貢献が期待される」など（社会的意義についての記載）

概要

東京大学大学院○○研究科の○○教授と、△△研究科の△△准教授らによる研究グループは、～を明らかにしました。

本研究では□□（注１）を用いた××技術を用いることで、～～を世界で初めて観測しました。先行研究と比較して○○の点で新規性があり、この研究成果は今後○○に役立つことが期待されます。**（400字）**

****

**図1：図のタイトル**

必要に応じて解説文を記載する（MS明朝 9pt）。1行の場合は中央寄せ、2行以上は左寄せにする等、必要に応じて適宜レイアウトを調整する。

発表内容

これまでの先行研究では××という問題点が挙げられていました。この度、本研究チームは○○に着想を得て、世界で初めて△△に○○を導入し□□を観測しました。

×年にわたる研究の成果で、～～が確認されましたが、これは～～のような社会への波及効果と、～～研究の発展に寄与することが期待されます。

本研究成果について、記者の皆さまにご説明の機会を設けましたので、是非ご出席ください。**（1000字程度）**



**図2：図のタイトル**

必要に応じて解説文を記載する（MS明朝 9pt）。1行の場合は中央寄せ、2行以上は左寄せにする等、必要に応じて適宜レイアウトを調整する。

**〇****関連情報：**

「プレスリリース①＊＊＊＊＊」（202\*/\*\*/\*\*）

[https://www.k.u-tokyo.ac.jp/information/category/press/\*\*\*](https://www.k.u-tokyo.ac.jp/information/category/press/xxx)

「プレスリリース②＊＊＊＊＊」（202\*/\*\*/\*\*）

[https://www.k.u-tokyo.ac.jp/information/category/press/\*\*\*](https://www.k.u-tokyo.ac.jp/information/category/press/xxx)

発表者・研究者等情報

**（記載例①学内複数部局を記載する場合）**

東京大学

大学院＊＊研究科

 ◯◯　◯◯　教授

兼：理化学研究所＊＊　チームリーダー

 ◯◯　◯◯　助教

研究当時：＊＊大学＊＊＊＊　特任研究員

 ◯◯　◯◯　東京大学特別研究員

大学院＊＊研究科・＊＊学部

 ◯◯　◯◯　教授

　　◯◯　◯◯　学部生

**（記載例②書き分ける必要がない場合）**

東京大学＊＊＊＊＊＊＊＊

◯◯　◯◯　教授

◯◯　◯◯　研究当時：博士課程

　現：＊＊大学＊＊＊＊　特任研究員

論文情報

**雑誌名：**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**題　名：**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**著者名：**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**DOI：**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**URL：**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

注意事項（解禁情報）

日本時間\*\*月\*\*日\*\*時（英国夏時間：\*\*日午前\*\*時）以前の公表は禁じられています。

研究助成

本研究は、科研費「＊＊＊（課題番号：\*\*\*\*\*\*）」、「＊＊＊（課題番号：\*\*\*\*\*\*）」の支援により実施されました。

用語解説

（注1）＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊

問合せ先

<研究内容について>

東京大学大学院＊＊研究科

 教授　◯◯　◯◯（よみ　がな）

 Tel：0\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*　E-mail：\*\*\*\*\*\*\*@\*\*.u-tokyo.ac.jp

<機関窓口>

東京大学大学院＊＊研究科 広報室

 Tel：0\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*　E-mail：\*\*\*\*\*\*\*@\*\*.u-tokyo.ac.jp

**作成にあたっての諸注意（共通）**

**●ロゴマークの使用**

　ガイドライン「2.3 UTokyo Logotypeの使用」をご覧ください。

**●レイアウト**

必要に応じて改ページの設定を行うなど、読みやすいようレイアウトを調整ください。

図と図の説明文、「用語解説」「問合せ先」はそれぞれ同じページ内に収まることが望ましいです。

**●表記ゆれ**

「です・ます調」、「句点（、）と読点（。）」を使用してください。英数字の全角・半角、同じ語の表記方法（例：タンパク質/たんぱく質/蛋白質）など、原稿内で統一してください。

**●所属の記載**

発表者所属は研究科あるいは専攻までの記載が推奨されます（詳細記載も可能です）。

研究科の場合、所属の正式な区切り箇所は「東京大学　大学院＊＊研究科」です。スペースの位置にご注意ください。

**●所属・肩書きの記載**

教職員の所属・肩書は、必ず職員名簿を確認し、リリース配信日時点での正式なものをご記載ください。職員名簿に記載がない雇用者の場合は、原稿中にコメント機能で必ずお知らせください。

　名誉教授については「東京大学名誉教授」が正式名称となります。

**●部局付与の称号の扱い**

職員名簿に記載の肩書（＝人事発令）と、部局で付与された称号・呼称が一致していない場合、上項同様、原稿中にコメント機能で必ずお知らせください。

（例）「プロジェクトリーダー」「上席研究員」

本文中は、人事発令／部局付与称号のいずれかを使用、「発表者・研究者等情報」欄には、人事発令を記載してください（部局付与称号の併記可能）。

**●発表者・研究者情報等欄**

この欄には、プレスリリースの発表者となる方を記載してください。原著論文の著者等で亡くなられた方は記載しません。